

あなたの願い叶え隊

- 第7回 -

様
歳

様は氷川町吉野のご出身で今月誕生日を迎えられました。「吉野といえば梨」ということで、梨狩りを楽しんだ後、懐かしい景色を見て頂こうと思い、外出を企画しました。（事前に果樹園の方と打ち合わせをして、車椅子で梨狩りを楽しむ予定でしたが、残念ながら台風14号の接近により予定変更になりました）

台風一過の晴天となった9月21日、生まれ育った氷川町へ出発。様は「こぎゃんよかにドライブなんて嬉しかなあ」といいながら車窓から見える景色を楽しんでおられました。

果樹園に着くとすぐ倉庫に案内されました。実は台風14号の被害に遭う前に梨は全て収穫してありました。しかし、私たちが訪問することをお伝えしていたため、綺麗な梨をたくさん用意して下さっていました。果樹園の方は、少しお話をした後、に梨を剥いて下さいました。採れたての梨はとてもジューシー。噛むたび口の中に甘い果汁が広がり、とても幸せな気持ちになりました。秋の味覚を楽しんだ様は大満足。帰りには沢山の梨をお土産に頂きました。



しみじみと秋の味覚を満喫しました



爽やかな風が吹いていました

梨を頂いた後は地元の名所立神峡へ。遊歩道に吹く秋風を感じながら辺りを散策。「子どもの頃は川で泳ぎよかったですなあ」と昔を懐かしむようにお話して下さいました。渓谷の中央部に着くと対岸に石灰岩の岸壁がそそり立ち、圧巻の光景。絶景を眺めながら、秋の気配漂う渓谷を楽しみました。

戻る途中で法道寺薬師堂の大楠にも立ち寄りしました。この楠は幹の太さ8.2m高さが約30mの大木で、付近住民を見守るように2本並んでいます。車を降りて楠の近くまで行くと「こら何て言う木ですか？ここまで太か木はなかなか見らん。立派立派」と大木を見上げながら話す様。施設に戻ると「今日は本当にありがとうございました。やっぱり地元は空気の違ったです。行けてよかった。次はいつ行かるっとな」と笑顔で話されていました。



法道寺薬師堂の大楠も見に行きました



お友達との再会で笑顔が増えました

偶然ですが、つばさには最近、様と小学校で同級生だった方が入居されました。そのおかげで「友達が来てそん楽しかです」といつも笑顔で話して下さいます。あの頃と違い年を重ねたことで、できなくなったこともあります。でも、できることもまだまだあるはず。失った物考えるのではなく、今自分に残されたものを大切にして最大限に活かしていく。そう考えることで今後の人生を、より明るく過ごすことができるのではないのでしょうか。

様は最近、約80年ぶり再会した同級生と一緒に、子ども時代を取り戻すかのようにホールに集まり、トランプで遊ぶ姿がよく見られています。子どもの頃に味わった「なんかウキウキワクワクする」という、あのドキドキが戻りつつあるのかもしれませんが。私たちは、そんな皆様のウキウキワクワクのお手伝いできればと思っています。

さて、明日は何をして楽しみましょうか♪



梨は吉野が一番♪

「人生はもっと輝ける」をスローガンに、職員全員で入居者様の笑顔を増やすべく取り組んでいます。つばさは、まだまだ勉強する面もたくさんありますが、今できることから一步步進めています。現在満床ですが、待機待ちも受け付けています。お気軽にお問い合わせください。